

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空

上場取引所 大

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 田中 彰一

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日

未定

TEL 042-764-0385

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,260	△36.0	△68	—	△75	—	△40	—
23年3月期第1四半期	1,970	357.7	△0	—	△16	—	△21	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △30百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△6.54	—
23年3月期第1四半期	△3.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,839	6,962	54.2
23年3月期	11,860	7,054	59.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,962百万円 23年3月期 7,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,785	△3.8	156	△23.2	118	△36.2	62	△45.3	10.07
通期	10,175	10.3	465	97.4	427	89.3	238	31.8	38.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,499,000 株	23年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	340,242 株	23年3月期	340,188 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	6,158,776 株	23年3月期1Q	6,158,852 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高、資源及び原材料価格の高騰、並びに欧州財政危機により、企業業績の悪化が懸念される中、3月に発生した東日本大震災により、甚大な被害を受け、生産、原材料調達、物流等に多大な影響を及ぼし、経済活動が停滞しました。さらに、大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故による放射性物質漏れに対する健康被害への不安や、電力供給不安など、国内の経済環境が大きく変化するとともに、先行きの不透明感が広がりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォンの生産・販売が世界的に見ても引き続き好調に推移しましたが、大震災の影響による自動車生産の落ち込みや先行きの不透明感から、水晶デバイスをはじめとする電子部品業界の設備投資は、慎重な動きとなりました。

こうした環境の中、当社グループは、中国・台湾などの海外市場を中心に積極的に受注・販売活動を展開してまいりましたが、総じて厳しい状況が続きました。

生産面では、上海子会社を中心にグローバル調達を推進し、原価低減に努めました。

損益面では、引き続き固定費削減に努めましたが、売上絶対量が少なく固定費をカバーしきれませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高18億38百万円（前年同四半期比28.7%減）、売上高12億60百万円（同36.0%減）となりました。

損益につきましては、経常損失75百万円（前年同四半期は16百万円の経常損失）、四半期純損失は40百万円（前年同四半期は21百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注高は16億16百万円（前年同四半期比29.4%減）、売上高は10億39百万円（同38.2%減）、セグメント利益は1億3百万円（同42.2%減）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

##### （水晶デバイス装置）

水晶デバイス業界では、最新装置を中心に積極的に営業活動をしてまいりましたが、東日本大震災の影響などもあり、受注・売上ともに厳しい状況となりました。

水晶デバイス装置の受注高は6億12百万円（前年同四半期比64.6%減）、売上高は4億4百万円（同71.6%減）となりました。

##### （光学装置）

光学業界では、受注面では、海外市場を中心に営業展開を進めてまいりました。また、売上に関しては、受注済大口契約の売上があり、概ね順調に推移しました。

光学装置の受注高は2億51百万円（前年同四半期比186.6%増）、売上高は4億49百万円（同441.5%増）となりました。

##### （電子部品装置・その他装置）

電子部品業界では、東日本大震災の影響などもあり、水晶デバイス装置同様厳しい状況となりました。また、売上に関しては、概ね順調に推移しました。

電子部品装置・その他装置の受注高は7億52百万円（前年同四半期比59.8%増）、売上高は1億84百万円（同6.8%増）となりました。

#### ②サービス事業

サービス事業につきましては、西日本拠点や上海子会社を中心に、修理・改造などの引き合いにも積極的に対応してまいりました。さらに、株式会社エフ・イー・シーが製造・販売する歯のない歯車「マグトラン」も積極的な営業活動を展開してまいりました。しかしながら、装置販売の低迷の影響を受け、苦戦いたしました。

サービス事業の売上高は2億21百万円（前年同四半期比23.1%減）、セグメント利益は31百万円（同48.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は78億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億16百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が35百万円、仕掛品が8億12百万円増加したことによるものです。固定資産は49億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により35百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は128億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億79百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は52億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億38百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が1億26百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が6億66百万円、短期借入金が6億50百万円増加したことによるものです。固定負債は6億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が61百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は58億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億71百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は69億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失40百万円及び剰余金の配当61百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.2%（前連結会計年度末は59.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成23年5月13日付「平成23年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ今後の業績の推移につきましては、より慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	912,108	947,273
受取手形及び売掛金	3,774,725	3,776,243
有価証券	79,863	79,274
商品及び製品	9,796	11,262
仕掛品	1,569,691	2,381,746
原材料及び貯蔵品	250,678	299,955
繰延税金資産	208,871	248,934
その他	52,504	130,264
貸倒引当金	△1,827	△1,882
流動資産合計	6,856,411	7,873,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,088,689	1,074,375
機械装置及び運搬具(純額)	89,092	80,324
土地	3,559,977	3,559,977
その他(純額)	34,476	30,846
有形固定資産合計	4,772,235	4,745,524
無形固定資産		
のれん	3,461	1,730
その他	95,314	88,266
無形固定資産合計	98,775	89,997
投資その他の資産		
投資有価証券	110,940	108,690
その他	102,274	102,038
貸倒引当金	△79,722	△79,722
投資その他の資産合計	133,492	131,007
固定資産合計	5,004,504	4,966,528
資産合計	11,860,915	12,839,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,729,350	2,395,593
短期借入金	—	650,000
1年内返済予定の長期借入金	700,380	574,050
1年内償還予定の社債	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	29,629	9,377
賞与引当金	140,950	87,147
役員賞与引当金	18,000	—
製品保証引当金	107,000	84,000
工事損失引当金	15,500	29,000
その他	332,911	383,215
流動負債合計	4,073,722	5,212,384
固定負債		
長期借入金	61,410	—
退職給付引当金	491,911	494,791
繰延税金負債	20,099	19,644
その他	159,262	150,763
固定負債合計	732,683	665,199
負債合計	4,806,405	5,877,583
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,451,129	2,349,279
自己株式	△278,068	△278,091
株主資本合計	7,104,140	7,002,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,753	7,499
為替換算調整勘定	△58,383	△47,750
その他の包括利益累計額合計	△49,630	△40,250
純資産合計	7,054,509	6,962,017
負債純資産合計	11,860,915	12,839,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,970,044	1,260,691
売上原価	1,568,132	982,183
売上総利益	401,911	278,507
販売費及び一般管理費	402,899	347,471
営業損失(△)	△987	△68,964
営業外収益		
受取利息	1,203	343
受取配当金	202	210
受取賃貸料	5,078	5,088
作業屑等売却益	718	121
その他	1,533	371
営業外収益合計	8,736	6,135
営業外費用		
支払利息	14,786	7,301
売上債権売却損	7,389	—
売上割引	472	1,453
為替差損	—	3,146
その他	1,868	1,159
営業外費用合計	24,517	13,060
経常損失(△)	△16,767	△75,889
特別損失		
固定資産除却損	—	29
特別損失合計	—	29
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,767	△75,919
法人税、住民税及び事業税	1,849	4,405
法人税等調整額	2,491	△40,063
法人税等合計	4,340	△35,657
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21,108	△40,261
四半期純損失(△)	△21,108	△40,261



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△21,108	△40,261
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14,307	△1,253
為替換算調整勘定	1,860	10,633
その他の包括利益合計	△12,446	9,379
四半期包括利益	△33,554	△30,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,554	△30,881

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,681,602	288,441	1,970,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,080	—	5,080
計	1,686,682	288,441	1,975,124
セグメント利益	179,923	60,225	240,149

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	240,149
のれんの償却額	△1,730
全社費用(注)	△239,406
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△987

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,039,016	221,675	1,260,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,488	1,506	18,994
計	1,056,504	223,181	1,279,685
セグメント利益	103,981	31,072	135,053

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,053
のれんの償却額	△1,730
全社費用(注)	△202,287
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△68,964

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	404,861	28.4
光学装置	449,998	541.5
電子部品装置	184,157	136.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,039,016	61.8
サービス事業		
部品販売	161,476	67.0
修理・その他	60,296	127.0
サービス事業計	221,773	76.9
合計	1,260,789	64.0

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ②受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	612,963	35.4	795,168	50.1
光学装置	251,370	286.6	1,136,200	799.1
電子部品装置	692,392	150.1	3,038,126	95.2
その他装置	60,000	621.6	60,000	689.7
真空技術応用装置事業計	1,616,725	70.6	5,029,494	102.1
サービス事業				
部品販売	161,378	67.0	—	—
修理・その他	60,296	127.0	—	—
サービス事業計	221,675	76.9	—	—
合計	1,838,400	71.3	5,029,494	102.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) (千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	404,861	28.4
光学装置	449,998	541.5
電子部品装置	184,157	136.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	1,039,016	61.8
サービス事業		
部品販売	161,378	67.0
修理・その他	60,296	127.0
サービス事業計	221,675	76.9
合計	1,260,691	64.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。